

令和7年度 南相馬市立石神第二小学校 グランドデザイン

<児童一人一人の可能性を引き出す>

- ・出来ないところより出来るところを伸ばす
- ・苦手なことより好きなことを伸ばす
- ・一人一人をチームで伸ばす
- ・一人一人の違いを大切に
(指導の個別化、人権の尊重)

教育目標

- ・ よくききよく考える子ども
- ・ 明るく思いやりのある子ども
- ・ 最後までがんばる子ども
- ・ 健康で元気な子ども

経営の重点

- 探究的な学習の充実(生活科・総合的な学習の時間)
- ・よりよく問題を解決し、自己の生き方を考える資質能力を育成する。
- ・実社会や実生活、SDGsの中から問いを見いだし、課題解決・情報収集・整理分析しアウトプットする。
- 児童一人一人が「わかる・できる」算数の授業充実
- ・主体的・対話的で深い学び、振り返りの充実
- ・個別最適な学び、協働的な学び
- 心を豊かにする読書活動の推進
- ・昼の全校一斉読書タイムの充実
- ・家庭の日の家庭読書の推進

重点目標 自分の考えを 発表しよう			
発表する時の子どもたちの姿			
○どんなことを話したいのかを考える。(低・中・高学年の姿)			
・ 学校生活や授業で分かったことや感じたことを「みんなに伝えたい!」と思うことを決めます。例えば、好きな本や最近すごいと思ったニュースのこととか。授業で分かったことや友達と相談して分かったことなど。			
○聞いてもらいやすくなるように工夫する。(中・高学年の姿)			
・ わかりやすい言葉を選んだり、絵や図を使ったりして、みんなが興味を持つよう工夫します。			
○みんなの話を聞いて、新しいことを知る。(高学年の姿)			
・ 発表が終わったら、友達の感想や質問を聞く時間があります。そこでは、「あ、そういう考えもあるんだ!」と感動したり、納得したりすることがあります。新しいことを知り、さらに自分の考えを発表することもあります。			
	低 学 年	中 学 年	高 学 年
前期 手立て	・ 自己紹介や簡単な発表の場の工夫。 ・ 発表の機会の場の工夫。 ・ 話しやすいテーマの設定。	・ 話し方のきまりの確認。 ・ 少人数での発表の場の設定。	・ 根拠を明確にした発表の仕方の工夫。 ・ 相手や場に応じた話し方の工夫。
後期 手立て	・ 全体の前で発表の場を設定する。 ・ わかりやすく発表するための手立ての工夫。 ・ 発表のふり返り。	・ 理由をつけての発表の工夫。 ・ 話し合いや意見交流の場の設定。	・ 根拠を明確にし、話す順序を考えさせる。 ・ 自分の考えが伝わる表現の仕方を考えさせる。

	よくききよく考える子ども(知)	明るく思いやりのある子ども(徳)	健康で元気な子ども(体)
P	○学校統一での「市の9つの課題」指導(学力向上) ○継続的な読書活動の具体的立案(司書と連携) ○保護者との教育の在り方共有(学習の手引き)	○一人一人のよさの把握・見通し(場面・環境) ○係活動・清掃活動・当番活動	○季節や行事と関連した業間運動 ○前年度体力テスト結果を生かした取り組み
D	①一人一人が「できる」「わかる」算数授業充実 ・「学びのスタンダード」にそった主体的・対話的で深い学びの実践 ・「問い」や「思い・願い」を引き出した導入(授業スタンダードチェック活用学期3回以上) ・少人数指導、スタディーサブリの実施 ・振り返り、適用問題を解く時間 ・習熟度別学習、ドリルアプリ活用 ②探究活動、体験活動の充実(至誠学) ・学年、ブロック間でのアウトプットの機会設定(学期1回) ・学習発表会での学びの発表(年1回) ・地域に根ざした体験活動(学期1回) ③発達段階に応じた自己マネジメント力を醸成 ・自主学習の手引きを活用した取り組み ④読書活動を推進 ・家庭読書(毎月第3日曜)の実施 ・読書タイムの推進、読書時間の確保の工夫	①思いや考えを伝え合い、「自分を大切にする」「友だちを大切にする」道徳教育実践 ・思いやりの価値項目での授業実践 ・ワークシート等の活用と資料の蓄積 ②人権教育の充実 ・いじめアンケートの有効活用(毎月) ・SNSの使い方、人権教室等(年1回) ③教育相談・生徒指導の充実 ・QUテストの効果的な活用 ・学級の枠をこえた学年(ブロック)経営 ④キャリア教育の充実 ・キャリア教育を意識した教科指導、体験活動(年1回) ・キャリアパスポートの活用(年2回) ⑤インクルーシブ教育を意識した教育活動の工夫 ・個別の支援計画、指導計画の活用(年2回の見直し) ・合理的配慮のある教育	①体力向上の取り組み ・運動身体づくりプログラムの毎時間実施 ・年間をととした業間マラソンの実施(学期1回重点) ②自分手帳を活用した健康マネジメント力の育成 ・成長の記録の記入、累積(学期1回) ・食育、健康教育での自分手帳活用(学期1回以上) ③望ましい食・生活習慣の定着 ・栄養教諭、養護教諭とのTT授業(年間1回) ・「マイベントウの日」を関連させた食生活への意識向上に向けた取組 ④自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育成 ・避難訓練、引き渡し訓への実践取り組み(学期1回) ・震災を風化させない取り組み(放射線教育 年間1回)
C	①児童、保護者学校評価アンケート(年1回) ②保護者授業参観アンケート(学期1回) ③市学力調査達成率70%以上 8割 ④通知票評価(年間2回)	①いじめアンケート(毎月) ②QUテスト(年間2回) ③キャリアパスポート(年間4回以上) ④特別支援委員会・交流級との打合(年1回以上)	体力テスト(目標) AB:40パーセント DE:25%以下 自分手帳を活用した肥満度10%以下
A	朝・休み時間等の個別指導 自主学習ノート紹介	道徳科授業 委員会活動・クラブ活動	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

